

【レジメン名】

RAM+DOC 療法

【適応疾患】

非小細胞肺癌  進行・再発  術前補助  術後補助

【インターバル日数】

1 コース 21 日

【使用抗癌剤】

一般名/ 略号	投与法	投与時間	投与日
ラムシルマブ/RAM 10mg/kg	点滴静注	1 時間	day1
ドセタキセル/DOC 60mg/m2	点滴静注	1 時間	day1

【注射スケジュール】

薬品名	投与量	目的	手技	点滴時間	d1	d2	...	d21	d1
生理食塩液 デキサート ポララミン	100mL 6.6mg 5mg	吐き気予防 アレルギー予防	点滴静注	30 分	↓				↓
生理食塩液 サイラムザ	250mL 10mg/kg	抗癌剤	点滴静注	1 時間	↓				↓
生理食塩液	50mL	インフュージョン リアクションの 観察期間	点滴静注	1 時間	↓				↓
5%ブドウ糖液 ドセタキセル	250mL 60mg.m2	抗癌剤	点滴静注	1 時間	↓				↓
生理食塩液	50mL	ルートフラッシュ	点滴静注	10 分	↓				↓

※1～2 クール目でインフュージョンリアクションの発現がなければ、3 クール目以降はサイラムザ投与直後に設けられている 1 時間の観察期間は省略可とする。その場合、生食 50mL によるルート内フラッシュのみとする。

【副作用】

《主な副作用(10%以上の頻度)》 国際第 3 相試験(REVEL試験)  
好中球減少症(38.9%)、貧血(20.9%)、発熱性好中球減少症(15.9%)、白血球減少症(12.9%)、流涙増加(13.4%)、下痢(31.7%)、悪心(27.0%)、口内炎(23.3%)、便秘(16.1%)、嘔吐(13.9%)、疲労(46.1%)、発熱(16.6%)、末梢性浮腫(16.3%)、粘膜の炎症(16.1%)、無力症(11.2%)、好中球数減(18.0%)、食欲減退(29.0%)、筋肉痛(12.4%)、背部痛(11.5%)、末梢性感覚ニューロパチー(11.6%)、味覚障害(10.7%)、頭痛(10.5%)、不眠症(10.7%)、呼吸困難(22.0%)、咳嗽(21.2%)、鼻出血(18.5%)、脱毛症(25.8%)、高血圧(10.2%)